

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0407	先人顕彰推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	花巻ゆかりの先人紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要						
○共同企画展 平成26年12月6日から平成27年2月1日まで開催 (開催館 5館：博物館、総合文化財センター、花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館 石鳥谷歴史民俗資料館)						
○先人顕彰ギャラリー展 平成27年2月から3月 開催場所：まなび学園、大迫総合支所、石鳥谷総合支所、東和総合支所 花巻の先人であり功績を残しながらも、広く知られていない先人を市民へ紹介する。						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 共同企画展の開催館数	館	計画		13	13	
		実績		8	5	
② 先人ギャラリー展開催回数	回	計画			4	
		実績			4	
③		計画				
		実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 共同企画展入場者数	人	目標			13,000	
		実績		12,690	4,314	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
郷土の先人の功績について理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れる状況を示すものとして設定した。 開催年からの例年の伸び率を鑑み3%程度の伸びを目標として定めた。リニューアル等により開催館が例年より少なかったため期間内におけるトータルに来館者は減少したが、アンケートより来館者の満足度は高かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内各施設の企画展の開催時期を合わせることで、来館者へのサービスを図るもので公共関与は妥当である。 先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	まだ知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。開催時期や企画展の内容について連携し、市民をはじめより多くの来館者が訪問しやすくなる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門的知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価		
まだ知られていない先人は多く、この先人たちの偉業を調査し、広く簡易に市民へ紹介し顕彰する機会を設けるなど、改めて地域の文化や歴史について市民の意識醸成に努めた。開催時期とテーマを合わせた共同企画展の実施により、テーマに則したより効果的な企画展示を実施することができた。		

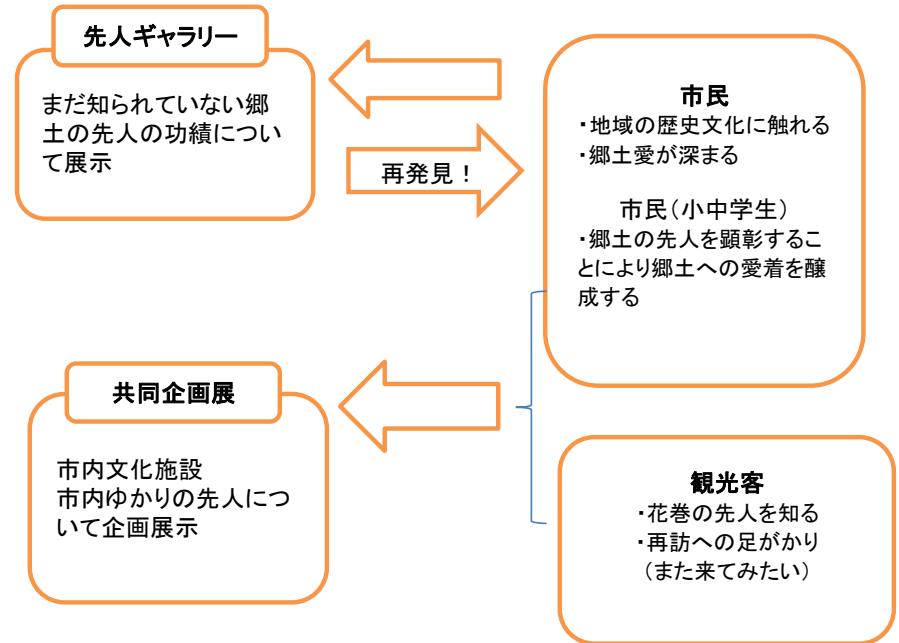
会計	款	項	目	事業コード	事業名
1	10	5	1	0407	先人顕彰推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			4,027		4,027
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		4,027		4,027

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部経営方針における目標			
文化の香り高いまちをつくります			
事業開始の背景・経緯			
市内文化施設の利用促進を図るため、各施設特別展の開催期間を合わせた共同企画展を開催する。			
事業概要			
○共同企画展	平成26年12月6日から平成27年2月1日まで開催 (開催館 5館：博物館、総合文化財センター、花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館 石鳥谷歴史民俗資料館)		
○先人顕彰ギャラリー展	平成27年2月から3月 開催場所：まなび学園、大迫総合支所、石鳥谷総合支所、東和総合支所 花巻の先人であり功績を残しながらも、広く知られていない先人を市民へ紹介する。		
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等			
市ゆかりの先人の功績をあらためて確認できたという意見や、知られていない先人に対して新たな発見がありもっと知りたいという意見があった。偉業を成しながらもまだ知られていない先人は多く、市民の要望に応えるためこれらの先人を広く紹介する必要がある。			

《事業手法の詳細》



共同企画展 3,810千円
 博物館 「盛岡藩焼物師 古館家」
 花巻新渡戸記念館 「城下に柔術を広めた人 新渡戸忠之丞」
 石鳥谷歴史民俗資料館 「岩手日報の創始者 後藤清郎」
 総合文化財センター 「早池峰神楽を紹介した人々 早池峰神楽」
 萬鉄五郎記念美術館 「湧き上がる色彩 未知なるフォルム 晴山 英展」

先人顕彰ギャラリー展 (新規) 107千円
 開催期間 平成27年2月から3月
 場所 まなび学園、大迫総合支所、石鳥谷総合支所、東和総合支所
 パネル展示により先人の業績を紹介した。
 展示内容 斎藤宗次郎(内村鑑三全集編集者)、伊藤敦子(プリマドンナ)、菊池俊吉(写真家)
 新渡戸十次郎(稲造の父)、佐藤隆房(総合花巻病院開院)、杉村勳兵衛(台焼創始者)

淵澤能恵顕彰事業補助金 110千円
 淵澤能恵を顕彰する会が結成10周年を記念し 市民へ向け、能恵の業績を理解してもらうことを目的とした顕彰事業に対して補助を行った。